

マーケットの動き（2025年7月28日～8月1日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、27日に米欧関税交渉が合意に達したことなどを受け、一時的に上昇する場面がありました。しかし、FOMC（米国連邦公開市場委員会）後の会見で、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が利下げに慎重な姿勢を示したことや、1日発表の米7月雇用統計が市場予想を下回ったことなどから、株価は下落しました。

欧州株式市場は、前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2025年7月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに上値は重い

企業業績については、景気減速に加えて関税政策を巡る駆け込み需要の反動の影響から下押しが懸念されています。

米国株式相場は、関税政策を巡る不確実性は残るもののやや軟化し、駆け込み需要の長期化もプラスとみられますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）が当面の利下げに対して慎重な姿勢を示していることに加えて、駆け込み需要の反動が懸念されることから、上値は重くなるとみています。

欧州株式相場は、米国関税政策による域内景気の減速が懸念される中、米国株式相場と同様に上値は重くなるとみています。

	8月1日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,238.01	▲2.36%	0.65%	3.27%	14.53%
NYダウ	43,588.58	▲2.92%	▲2.04%	▲2.15%	8.03%

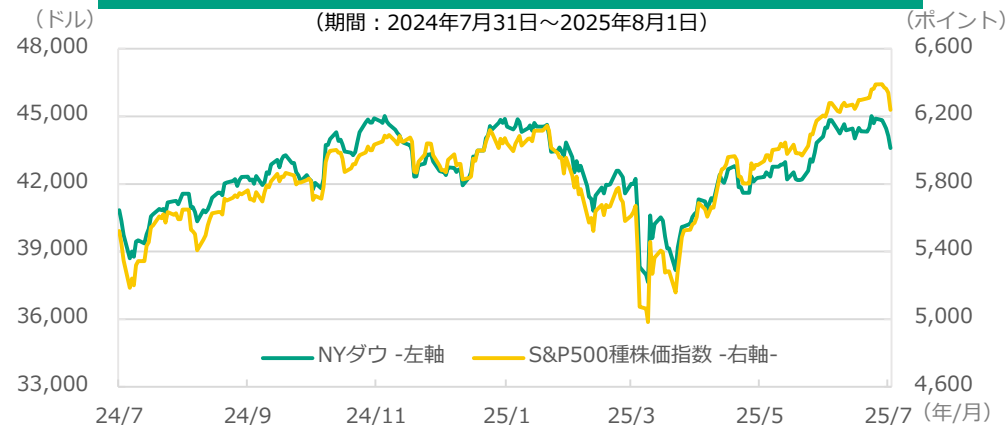
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

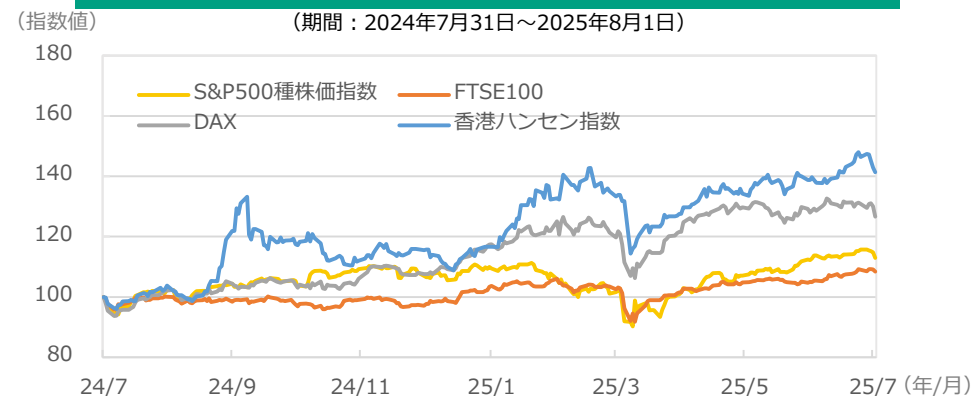
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202507_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2024年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成